

科目名 (科目番号)	臨床化学Ⅱ (102191)	教員名 難波 俊二	学科等	臨床検査	必修	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		木13	B201研究室	
授業概要	臨床化学(生化学) は医学を理解する上で重要である。検査においては常に生化学が基本となる。1年次に履修した生化学、臨床化学検査学Ⅰ、臨地実習で体験した知識を統合的に整理し、疾患との関わりから臨床的意義を分析し理解する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	臨床化学分析の基礎技術	到達目標: 基準範囲の求め方、精度管理法、検体の取り扱い、自動分析法などを理解する。 学習内容: 基準範囲の概念、精度管理法、検査材料の取り扱い、分光光度法および自動分析法を学ぶ。				
	2	電解質と微量元素	到達目標: 電解質と微量元素の測定法と臨床的意義を統合的に理解する。 学習内容: 臨床検査で重要な電解質と微量元素の機能、測定法および臨床的意義について、それらの要点を学ぶ。				
	3	糖質	到達目標: 糖質、糖化物の測定および臨床的意義を統合的に理解する。 学習内容: 糖質と糖化物の構造と機能、測定法および臨床的意義について、それらの要点を学ぶ。				
	4	脂質とリポタンパク	到達目標: 脂質の測定法と臨床的意義を統合的に理解する。 学習内容: 臨床検査で重要な脂質とリポタンパクの構造と機能、測定法および臨床的意義について、それらの要点を学ぶ。				
	5	タンパク質、非タンパク性窒素成分	到達目標: タンパク質、非タンパク性窒素成分の測定法と臨床的意義を統合的に理解する。 学習内容: タンパク質、非タンパク性窒素成分の構造と機能、測定法および臨床的意義について、それらの要点を学ぶ。				
	6	酵素	到達目標: 酵素活性の測定法、アインザイムおよび臨床的意義を統合的に理解する。 学習内容: 酵素活性の求め方、国際単位概念、臨床検査で重要な各種酵素の機能と測定法、アインザイムおよび臨床的意義について、それらの要点を学ぶ。				
	7	骨代謝マーカー、ホルモン、血中薬物、生体色素	到達目標: ホルモン、血中薬物、生体色素の測定法と臨床的意義を統合的に理解する。 学習内容: 臨床検査で重要な骨代謝マーカー、ホルモン、血中薬物、生体色素の機能、測定法および臨床的意義について、それらの要点を学ぶ。				
	8	機能検査	到達目標: 各種の機能検査と臨床的意義を統合的に理解する。 学習内容: 肝臓、消化管、膵臓、腎臓および内分泌の代表的な機能検査と臨床的意義について、それらの要点を学ぶ。				
成績評価の方法・基準	期末試験 (100%)						
教科書	最新臨床検査学講座 臨床化学検査	浦山 修、戸塚 実ほか			医歯薬出版		
参考図書	新版 臨床化学 第3版	片山善章、栢森裕三、長村洋一編			講談社サイエンティフィク		
教員からのメッセージ	ただ暗記するだけではなく、これまでに学んだ生化学、臨床化学検査学Ⅰ、臨床化学実習および臨地実習の知識を統合的に理解することにより、応用力が培われます。前進あるのみ！						